

# 長田下地域 振興会だより 第14号

2012年(平成24年)7月26日発行

## ”近所”を”近助”に

会長 笹岡 邦彦

以前、市の担当課の元課長に言われたことがあります。「お宅のは、イベント型振興会ですね。これだけあったら役員さんもしんどいでしょう。」と。

まさに、おっしゃるとおり。振興会主催の大小諸行事、地域の団体や施設の後援・共催行事、さらに向原町全体の行事（きてみん際、敬老会）など、たしかにたくさんあります。役員間に負担感や慢性的疲労感があるのも否定できません。

しかし、その中には、役立ち感や充実感があります。「イベント型」でも結構。手がけている諸行事の底には、人と人をつなぎたい、関係を深めたい、という精神が流れているのですから。

車社会の中では、狭い長田下地域は、ひとつの“近所”と言えます。振興会が関わる各種イベントは、どれも近所づくりに貢献していると自負しています。

行事等へのみなさまの参加率も、他地域がうらやむほど高率です。ありがたいことです。この近所力をより深め、“共助”、“近助”へ高めていければ最高です。

振興会活動へ参加できない方、いわゆる「・・・弱者」（私はこういう言い方は嫌いです。「・・・に困難を感じる人」とでもいうべき。）の方等へのきめ細かな取り組みも視野に入れながら、進んで行こうと思っています。

イベントだらけの夏から秋、現在その真っ只中にあります。

“近所”のみなさま、都合をつけてご参加よろしくお願ひします。いっしょに楽しみながら、近所力・近助力を高めましょう。

日頃思っていることの一端を述べさせていただきました。

久々の振興会だよりの発行です。今後、タイムリーな情報が提供できると思ひます。ご愛読ください。



## 6/16 ふれあいの集い

中長田集会所にて

当日は、29名（男12，女17）が集い、まずは、血圧測定からはじまり、振興会笹岡会長より挨拶、中川部長より会の説明、そして、80歳以上の方の表彰を行い記念品を贈呈しました。

その後は、通所介護事業所「かがやき」から来て頂いた上岡さんと新出さんに「すこやか介護保険」の説明を頂き、「かがやき」で体操指導されている大前さんから、ボールでの予防体操も教わり、汗もかきながらも談笑の内に会は終了した。

また、その後には、今回参加できなかったお年寄りに記念品を持って回りました。



▲笹岡会長より記念品贈



▲「寸劇・介護保険」の説明



▲予防体操・大前さん指導

## 7/21 おかげんさん

北九州に甚大な被害をもたらした梅雨の終わり。予定していた14日も天気が不安定で一週間延期となりました。

今年は、おかげんさんの大提灯が新調され、大きな竹竿を台車に据え付けて移動する工夫がされていました。

初めて参加された小さい子どもさんもみんな頑張ってゴールすることができました。

大輪の花火を見ながら、今年も下長田の夏がやってきた！と実感した夜となりました。



▲子ども達もガンバリました



▲今年は台車にも据え付けました



▲皆さんお疲れ様でした

## 「下長田地区の文化財保護と伝承」について考える⑤

# 盆 唄 考

前号では、下長田の無形文化財のうち、「盆踊りの起こり」について書きましたが、今回は、前回の続きとして、「盆唄」についてお話します。

最近では、盆踊りも、カセットやCDの音楽に乗せて、盆踊り大会をする所が多くなりましたが、下長田の盆踊りは、今日でも、太鼓の拍子だけで、きわめて素朴な歌の形式で行われています。

8月14日の盆踊りの晩を思い出してみてください。踊り手が、「伊勢音頭」で入場して、「長田音頭」や「四つ拍子」「いろは口説（山崩しともいう）」「おけさ」などを踊り、再び「伊勢音頭」で退場する。こうした大きな順序で、楽しく踊っています。



もともと、下長田の盆唄は歌詞もいろいろで、「長田音頭」や「三つ拍子」や「四つ拍子」を中心に、地元の風物や歴史などを唄っていたそうです。それが、今から70年以上前のころは、「鈴木主水」「山崎山佐」「八百屋お七」「巡礼口説（四国阿波の巡礼娘の話）」「お寺の建立祝唄」など、芝居や歌舞伎などに出てくるような物語風のものも多く取り入れ、1曲が10分も20分もかかる長い口説き（歌唱のこと）だったそうです。当時の歌名人（音頭取りさん）は、マイクもない時代に、何百人の聴衆に向かって長く歌っておられたので、声をよく鍛えておられ、遠くまで届く、美しい声の持ち主だったそうです。

すでに故人になられた、当時の歌名人に、「どうして、三重県の『伊勢音頭』や新潟の『佐渡おけさ』や徳島の『巡礼口説』などが、この田舎で歌われているのですか」と、お聞きしたことがあります。すると、「わしらが若いころ、東広島市の酒造会社の手伝いや関西に奉公に行ったりして、そこの宿泊所で、一杯酒が入ると、自分の故郷の民謡を唄ったりして、交流しているうちに、他国の民謡のいいものを覚えて帰って、それを盆唄に取り入れたのよ」と、教えてくださいました。

今は、明神クラブの有志の方を中心に、長田の盆唄が継承されていますが、時代の経過とともに、盆唄の歌詞も、短く簡潔なものに変化したようです。

盆踊り 8/14 (火)

午後8時から中長田集会所において

※ 歌詞について、お知りになりたい方は、谷林(☎46-3099)までお電話ください。



# 沖増ミヤコ様 ご長寿お祝い訪問

100歳 おめでとうございます。  
お祝いの花束・記念品を、笹岡自治  
振興会会長より、沖増ミヤコ様に贈呈  
いたしました。

詳しくは、次号でお伝えします。

## 土嚢づくり

振興会では、企画調整部を中心に  
土嚢づくりをしています。今、下長  
田集会所の広場に約300個保管し  
ています。大雨などいざというとき  
のために備えています。一度、見て  
おいて使えるようにしてください。



## これからの行事予定

盆踊り	8月14日(火)
ひとは祭り	9月1日(土)
第2回ふれあいの集い	9月13日(木)
秋の大運動会	10月14日(日)
敬老会	10月27日(土)

是非参加して楽しんでください。

## 広報委員の紹介

谷林文男 金岡俊信  
寺尾文尚 火上保雄  
松田 清 児玉尊子

この6人で、1年間やって  
いきます。楽しい広報にな  
るようがんばります。  
よろしくお願ひします。

(事務局 岩見達也)

発行： 長田下地域自治振興会 担当： 広報委員会、企画調整部